

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結

公表：令和4年3月17日

事業所名 春日井こども発達支援センターてく
てく

保護者等数95名(児童数100名) 回収率 29%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	1			・少人数で外の公園に行ったりと工夫されている。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1		1	・専門性についてはわからない。名札をつけた方が理解できるかも。	・検討させていただきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	2		1	・入り口がバリアフリーになっている。トイレも子どもが使いやすいようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28				・いつも部屋がきれいである。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	26	2			・1人1人にあった支援計画がされている。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1		6	・丁寧に考察し、対応してくださっていて、こちらも励みになります。 ・よく考えて支援して頂いていると思っています。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	4		3	・音楽療法なども取り入れて、素晴らしいと思う。	
	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	24	4		1	・外での活動、室内での活動、季節感のある活動も盛り込まれていて、いい経験が出来ていると思う。 ・毎月楽しそうな内容で子どもも満足しています。 ・色々な事を経験させてくれて、ありがたいと思っています。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1	6	8	・コロナ禍では困難であろうと思う。 ・コロナ禍なので、ないのかと思います。 ・コロナ禍で難しいと思う。 ・幼稚園に通って色々な人と交流している。	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	1	2	・丁寧な説明をしてもらった。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面の機会が最小である以上仕方ないけれど、説明機会はあまり多くないと思う。 ・先生方から詳しく説明を聞くので、安心して任せている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も 保護者の方々に詳しく支援計画書のお話をさせて頂く機会を作っていく事が出来るように考えていきます。 	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※iv等)が行われているか	14	5	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・てくてくの会で情報交換の場はあると思うが、ペアレントトレーニングもあるといいと思う。 ・こちらの悩みなどに相談やアドバイスを頂き感謝しています。先生から見て、子どものこんなところに こう接するといいですよ！など具体的なアドバイスがもらえると もっと嬉しいです。 ・発達スクリーニングなどで 苦手な事を聞いて理解することが出来た。 ・ペアレントトレーニング？書いてありました？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々とお話しする(てくてくの会)(親子分離)など、今後も取り入れ、お子さんの成長と一緒に考える事が出来れば・・と思います。ペアレントトレーニングなども機会を作り、お話し出来ればと思います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	24	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・療育内での様子等、伝えてもらえるので安心します。 ・コロナ禍になり、以前よりは少し難しくなっている。 ・てくてくの終わりに先生方から一言聞けるだけで安心できる。 	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	1			<ul style="list-style-type: none"> ・先生方に話を聞いてもらえて、本当に心が落ち着きます。 	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	3	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍では難しいと思う。 ・てくてくの会があるので、他の保護者の方の意見が聞けて助かる。 	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・相談をいつでものっていただけるので 本当に助かります。 	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在SNSとか、コロナ禍が終わったら、以前のように直接報告を受けれるといいなと思う。 ・忙しいと思うので難しいと思いますが、活動の内容以外にも、その日の様子をもっと詳しく教えてもらえると嬉しいです。(お迎えの時は、子どもがすぐどこかに行ってしまうので、なかなか話が聞けないため・・・) ・活動後のメールが送られて、どんな内容をしたのかわかるので助かります。 ・メールが来て 今日どんなことをしたのか知ることが出来るから、話も子どもと広がりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のように 療育後に話し出来る日をスタッフも望んでおります。相談などはご連絡頂ければいつでも対応させていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26			1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで配信されている。 	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・おまかせしています。 	
	非常時等の	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は不明だが、説明の文書はもらえている。 ・マニュアルは頂いています。訓練が実施されているかはわかりません。 ・コロナの時もプリントで詳しくお知らせしてあったのでわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づき 地震・火災・戸外への避難・不審者対応など、毎月行っております。散歩で交通ルールも取り入れております。保護者の方々にご協力頂くコロナ・胃腸風邪はお手紙を配布しております。

対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2		9	・していただいているかもしれませんが、把握していません。	・スタッフ全員での訓練を毎月行っております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24	2		1	・毎週楽しく通所しています。色々な取り組みを考えて下さり感謝しています。 ・毎週楽しみにしています。 ・いつも楽しいみたいなので通わせて良かったと思っています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	25	2			・この施設に通えて良かったなあ～と 思っています。 子どもが熱中するものを理解してくださったり、寄り添ってくださったり、私の手におえない時にサポートして下さったりと、とても有難く思っています。いつも本当にありがとうございます。 ・先生方がいつも一生懸命なので、満足している。	・今後もスタッフ一同、ご家族に寄り添いお子さんの成長の手助けが出来ればと思っております。今後も努力してまいります。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....